

項目・区分		フェスタ2001				フェスタ2001備考	フェスタ2000				2001と2000との対比				
参加登録劇団数(実数)	上演参加劇団数	155				実数	167				92.8%				
	観劇参加劇団数	175					118				148.3%				
	計	330					285				115.8%				
	参加劇人数	1,623				うち21世紀会議参加者約130人	1,590				102.1%				
上演参加登録劇団数	上演参加タイプ別参加劇団数(重複あり)	A	B	C	計	タイプ間の重複参加あり。屋外公演劇団は、Aや地区Bとの重複多い。	A	B	C	計	A・Bはプロ、Cはプロとアマ各タイプで重複あり。学生には小中学校劇団を含む。	A	B	C	計
	現代人形劇プロ	18	51	118	187		23	30	116	169		78.3%	170.0%	101.7%	110.7%
	現代人形劇アマ	18	43	7	68		23	24	7	54		78.3%	179.2%	100.0%	125.9%
	現代人形劇学生			68	68				70	70				97.1%	97.1%
	伝統(プロ・アマ)			37	37	小中学校の劇団含む			35	35				105.7%	105.7%
	海外(プロ・アマ)	0	4	4	8	八王子車2・江戸糸・西畑・庄内・今田2・黒田 なお、中高生も含む	0	2	4	6			200.0%	100.0%	133.3%
	海外(プロ・アマ)	0	4	2	6	チロ・米・台湾・韓国3	0	4	1	5		100.0%	200.0%	120.0%	
内容別ステージ数と観劇者数	上演参加タイプ別	A	B	C	計	観劇者数	備考	A	B	C	計	観劇者数	公演数	観劇者数	
	有料公演	34	10		44	6,559	大人が4,831人で73.8%を占めた。	41	5		46	6,779	95.7%	96.8%	
	ワッペン公演		74	151	225	28,241			61	175	236	26,820	95.3%	105.3%	
	計	34	84	151	269	34,800	大人:19,298人 / 子ども:14,787人	41	66	175	282	33,599	95.4%	103.6%	
	地区会場公演		30	99	129	11,515	大人:5,249人 / 子ども:6,106人		16	113	129	12,077	100.0%	95.3%	
	本部会場公演		2	7	9	1,288	プロは21会議特別公演		2	15	17	2,355	52.9%	54.7%	
	ワークショップ公演			5	5	899	講評付き公演(観劇者数は再掲)			3	3	360	166.7%	249.7%	
	セントラルパーク公演		22	6	28	8,900			9	8	17	5,100	164.7%	174.5%	
	アップルタウン公演		12	10	22	2,438			14	13	27	5,400	81.5%	45.1%	
	学生連続公演			7	7	938	内1劇団は韓国の学生劇団			7	7	647	100.0%	145.0%	
	ミッドナイトシアター		1	4	5	391				6	6	300	83.3%	130.3%	
	お楽しみ図書館公演		3	9	12	1,862							皆増	皆増	
	くらクラ真蔵公演			4	4	85				4	4	65	100.0%	130.8%	
	広域公演		4		4	824			4		4	不明	100.0%		
	海外人形劇公演		7	2	9	2,186	観劇者数は再掲		10	1	11		81.8%	#DIV/0!	
	伝統人形芝居		5	4	9	1,448	観劇者数は再掲		2	2	4	337	225.0%	429.7%	
アジアナイト						2000の特別企画		1	1	2	96	皆減	皆減		
夏の宵の人形劇場						2000の特別企画		2	2	4	420	皆減	皆減		
かこさとし特集						2000の特別企画(再掲)	3	1	4	8	2,840	皆減	皆減		
公演会場数(実数)	地区会場	74					71				104.2%				
	本部会場	23				文化会館、人形劇場、市公、パーク、アップルタウン、図書館	25				92.0%				
	広域公演会場	3				松川町・豊丘村・下條村	4				75.0%				
	計	100					100				100.0%				
自主企画提案	提案件数	4					10				40.0%				
	認定件数	4				半分は3年目の継続企画	6				66.7%				
一校一交流活動	6	小学校	2	中学校	8	追手町・浜井場・千代・川路・上郷・豊丘南・飯田東・飯田西	2	小学校	3	中学校	5	160.0%			
ワークショップ受講者数	A	B	C	D	今年	講座内容と数が変化。手軽なパネルシアター、エプロンシアター、初のバックステージツアーに人気。	A	B	C	受講者総数		受講者総数	263.9%		
	25	25	13	35	219		6	3	15	今年	前年				
	E	F	G	H	前年		D	E	F	計	226				
	49	44	7	21	83		23	19	17	83					
参加証ワッペン販売状況	13,336 枚				9,335,200円		13,469 枚				9,428,300円	99.0%			
ボランティアスタッフ登録数	本部登録スタッフ		実行委員		65	学生は小中高大。一般のうち254人が市役所スタッフ 区分間の重複が多少あり	本部登録スタッフ		地区スタッフ		本部登録スタッフ		地区スタッフ		
	一般	学生	計	地区スタッフ	1,305		一般	学生	計	1,277	(計の対比)		102.2%		
	729	101	830	総計	2,200		320	136	456	総計	1,733	182.0%	総計	126.9%	
有料公演結果	A	販売額(ア)(円)		5,649,700		入場者数比率(観客数/席数)		7,260,100		入場者数比率(観客数/席数)		77.8%			
		観客数(イ)(人)		4,490		観客数には招待ほかも含む		5,817		観客数には招待ほかも含む		77.2%			
		席数(ウ)(席)		7,870		57.1%		11,506		50.6%		68.4%			
	B	販売額(ア)(円)		2,333,000		入場者数比率(観客数/席数)		956,000		入場者数比率(観客数/席数)		244.0%			
		観客数(イ)(人)		2,053		観客数には招待ほかも含む		931		観客数には招待ほかも含む		220.5%			
		席数(ウ)(席)		4,400		46.7%		1,900		49.0%		231.6%			
計	販売額総計(円)		7,982,700		入場者数比率(観客数/席数)		8,216,100		入場者数比率(観客数/席数)		97.2%				
	観客数総計(人)		6,543		観客数には招待ほかも含む		6,748		観客数には招待ほかも含む		97.0%				
	席数総計(席)		12,270		53.3%		13,406		50.3%		91.5%				
ウィンドー人形展	75 店舗 (丘の上61 / 伊那谷道中14ほか)				参加店舗はワッペンを購入	99 店舗 (丘の上:84 / 一色:15)				75.8%					
トピックス	全国規模の「人形劇21世紀会議」が行われた。15年ぶり。田中康夫長野県知事がオープニングセレモニーに出席。スタッフのための前夜祭「SIDE by SIDE by SIDE」を実施。地区公演でB劇団をゆっくり楽しむ拠点会場方式を採用。					「かこさとしの世界展」を開催。延べ6,000人が参加。地区公演で会場と劇団とが直接打合せを行う仕組みがスタート。									

概説

- 登録参加の劇団数と観劇劇団数が増加したのは、人形劇21世紀会議が行われたためであるが、初参加者も多く、フェスタが広まることにつながるのではないかと。
- 上演参加劇団数は、フェスタになってから毎年増加している。プロの参加が増えているのが主たる要因である。プロが参加しやすくなっていると言える。
- 有料公演は、観劇者数、売上とも公演数の減少した割合とほぼ同じだけ昨年を下回った。しかし、有料公演そのものは、定着しつつあると見てよい。有料のB公演が昨年よりも多くの人を集めたが、これは公演数が増えたこと、特別な公演「日本チェコ」があったことによるものと考えられる。
- 地区公演の観劇者数は、昨年を下回った。暑いこと、公演日時の設定(地区内で重複あり)、事前PRの不足などの要因が考えられる。しかし、会場ごとの反省では、ゆったりと観劇できたという評価が多く、観劇環境としては落ち着いてきつつあると見てよいのではないかと。なお、地区拠点会場公演や地区B公演や劇団と会場との打合せがスムーズに行われた公演は、好評であり、地区でもよりよい公演づくりが進んでいる様子がうかがえる。
- 企画公演では、「お楽しみ図書館公演」と「くらクラ真蔵公演」が好評であった。来年も位置づけて充実させることが望ましい。また、パーク公演は一定の意図で編成されたこともあり、観劇者が増加した。今後の企画公演の一つのあり方を示すものであろう。
- ボランティアスタッフは、昨年より増加。スタッフとしての配置、業務の割り当て、実行委への参画など課題が多く、コーディネイト機能を早急に整備強化する必要がある。なお、伊賀良地区では、地元中学生がスタッフとして参加し、双方にとってよい機会であったようだ。他地区でもこうした取り組みが期待される。
- ワッペン販売数の減少傾向が続いている。有料公演を見ると負担感が強いとか、大人も子どもも同額は大変などの意見がある。